

近畿地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和3年3月9日（火） 16:00～17:00

□場所

近畿地方整備局 新館 3階 A会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いづか あつし 飯塚 敦	神戸大学 都市安全研究センター 教授	○
うの のぶひろ 宇野 伸宏	京都大学大学院工学研究科 教授	
おがわ けいいち 小川 圭一	立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授	
かな こういち 嘉名 光市	大阪市立大学大学院工学研究科 教授	○
きむら れお 木村 玲欧	兵庫県立大学 環境人間学部 教授	○
こにし はなこ 小西 華子	竹林・畑・中川・福島法律事務所 弁護士	
【委員長】 こばやし きよし 小林 潔司	京都大学 名誉教授 京都大学経営管理大学院 特任教授	○
ただ のりこ 多田 稔子	一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 代表理事	○
まきむら ひさこ 槇村 久子	京都女子大学 宗教・文化研究所 客員研究員	○

□対象事業

• 一般国道43号（名神湾岸連絡線）^{めいしんわんがん} 名神湾岸連絡線^{めいしんわんがん}

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道43号（名神湾岸連絡線） 名神湾岸連絡線】

- 本地域には環境問題もあるので、事業の実施に当たっては、沿線地域への配慮が重要であり、環境面でも負荷が軽減されるよう取り組んで頂きたい。
- 本路線は阪神高速5号湾岸線と接続するため、防災減災、リダンダンシーの観点からできるだけ早期に整備されることを望んでいる。
- このエリアは環境ロードプライシングのエリアであるため、本路線の整備による環境負荷の軽減効果をしっかり見る必要がある。
- 本路線周辺の地域は南海トラフの地震時には浸水区域となっており、災害時は交通渋滞の発生が予想される。本路線のような高架の道路は災害時には有効的であり、期待している。
- 国全体としても大都市圏の料金は継続して検討していく方向であるが、関西はネットワークが出来あがっていない状況であるため、名神湾岸連絡線ができれば、経路誘導の議論の自由度が上がってくることも期待している。

□結論

一般国道43号（名神湾岸連絡線） 名神湾岸連絡線
の新規事業化については妥当である。

（敬称略、五十音順）